

(1) 実施機関名：

気象庁

(2) 研究課題(または観測項目)名：

検潮観測

(3) 最も関連の深い建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ア．日本列島域

(4) その他関連する建議の項目：

1. 地震・火山現象予測のための観測研究の推進

(1) 地震・火山現象のモニタリングシステムの高度化

ウ．東海・東南海・南海地域

(5) 本課題の 5 か年の到達目標：

潮位の連続観測を継続して実施する。

(6) 本課題の 5 か年計画の概要：

潮位データの伝送を高度化し、障害による欠測を減少させる。

(7) 平成 21 年度成果の概要：

気象庁の潮位観測点について、障害による欠測を減少させるため伝送装置を更新した。また、気象庁に集約された全国 176 地点の潮位データを継続して気象庁 HP ならびに国土交通省防災情報提供センター HP にて公開(5 分間隔で更新)している。さらに、気象庁が管理している地点については、毎時潮位、月平均潮位(平年偏差)、津波、副振動等のデータも気象庁 HP 上で公開している。

(8) 平成 21 年度の成果に関連の深いもので、平成 21 年度に公表された主な成果物(論文・報告書等)：

上記のように観測成果を HP にて公表している。

(9) 平成 22 年度実施計画の概要：

更新した伝送装置の安定運用を図り、潮位の連続観測を継続して実施する。

(10) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

気象庁地球環境・海洋部海洋気象課、地震火山部

他機関との共同研究の有無：有

国土交通省(河川局・港湾局)、国土地理院、海上保安庁と連携した潮位データの一元化

(11) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署等名：地震火山部管理課 地震調査連絡係長

電話：03-3212-8341(内線：4514)

e-mail：jmajishin_kanrika@met.kishou.go.jp